

製品安全データシート

会社名 武藤化学株式会社

住所 〒113-0033 東京都文京区本郷2-10-7

担当部門 学術課

緊急連絡先/受付時間：月曜日～金曜日、9:00～17:00

電話番号 03-3814-5511 FAX 03-3815-4832

MSDS番号 192

改訂作成 2015年10月 2日

製品名 ムチカルミン染色原液

物質の特定

単一製品、混合物の区別：混合物

含有成分

化学名（一般名）	カルミン	水酸化アルミニウム	エタノール	塩化アルミニウム	水
含有量（1 L 中）	約1g	約1.1g	約50ml	約0.5g	約50ml
化学式	C ₂₂ H ₂₀ O ₁₃	Al(OH) ₃	C ₂ H ₅ OH	AlCl ₃	H ₂ O
官報公示整理番号 （化審法）		1-17	2-202	1-12	
CAS No.	1390-64-4	21645-51-2	64-17-5	7784-13-6	

危険有害性の分類

分類の名称：引火性液体（本液は約50%のエタノール溶液であり、エタノール単独に比べ引火しにくい）

危険性：加熱により引火または爆発することがある。

毒劇性物質等に該当する成分は含まれないが、取扱上注意を要する。

有害性：本液の50%を占めるエタノールは比較的無害の溶媒とみなされるが、蒸気を吸入すると麻酔剤として働き、繰り返しさらされた場合粘膜への刺激、めまい、頭痛などを起こす。

応急処置 目に入った場合：清水で十分に洗い流し、必要に応じて眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：直ちに付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。汚染された衣服や靴を速やかに脱がせる。

吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移す。

飲み込んだ場合：口を多量の水ですすぎ、できることなら吐かせる。直ちに医師の診察を受ける。

火災時の措置 消化方法：少量の場合は、噴霧注入で消火可能である。

初期消化として粉末、二酸化炭素、粉末消化設備で消化する。

消化剤：少量の場合は大量の水（噴霧注入）

多量の場合は二酸化炭素、粉末

漏出時の措置 少量のこぼれ：漏れ出した本液を多量の水で希釈して洗い流す。
多量のこぼれ：漏れ出した本液を土砂、土壌などで流れを止め、土砂、土壌を回収する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い：換気扇または局所排気装置を作動し、保護手袋等を用い、直接触れないよう注意する。
保管：直射日光を避け、換気のある所で保管する。

暴露防止装置

エタノールについて
許容濃度：ACGIH(1989-1990) TWA 1,000ppm(1,880mg/m³)
設備対策：測定器(可燃性ガス警報機、他)
保護具：通常はゴム手袋、安全靴。
高濃度の場所ではゴム手袋、安全靴、保護メガネ、防毒マスク着用

物理／化学的性質

外観：赤色の液体。
臭い：アルコール特有の匂いがする。
溶解性：水と任意の比で溶ける。

危険性情報 引火点：12.8℃ (エタノールについて)

本品は可燃性成分エタノールは約50%しか含まれなく、その為本品の引火性はエタノール単独に比べかなり高いと考えられる。

発火点：422.8℃ (エタノールについて)

爆発限界(エタノールについて)：上限 3.3Vol.%, 下限 19.0Vol.%

可燃性：揮発性が大きく、引火しやすい

有害性情報

毒性(エタノールについて)

:LD50 10.6g/Kg(ヤングラット) 7.06g/Kg (オールドラット)

慢性毒性：知見なし

がん原生：知見なし

急毒性(水酸化アルミニウムについて)

腹腔内注射 ラット LDLo 150mg/Kg

急性毒性(塩化アルミニウムについて)

経口毒性 マウス LD50 770mg/Kg

ラット LD50 3,730mg/Kg

環境影響情報 分解性：知見なし
蓄積性：知見なし
魚毒性：知見なし

廃棄上の注意 引火性に強い液体に関する一般的な注意事項により注意して廃棄する。
少量の場合：多量の水で希釈して処理する。
多量の場合：焼却によって行う。
焼却炉がない場合は、廃棄処理業者に廃棄を依頼する。

輸送上の注意 ：取扱に及び保管上の注意の項の記載による他、引火性の強い液体に
関する一般的な注意による。
国連番号：1993
クラス分類：3

適用法規 消防法には該当しないが、消防法に準じた取扱が望まれる。

引用文献 1) MERCK INDEX 11th. ed. Merck & Co., INC., 1989
2) 化学物質安全性データブック 化学物質安全情報研究会編、オーム社、1994
3) 製品安全データシートの作成指針、厚生省生活衛生局生活化学安全対策室、他監
修 社団法人日本化学工業協会 1992年
4) 試薬ハンドブック 日本試薬連合会編集 改訂、 化学工業日報社、 1992

危険、有害性の評価は必ずしも十分ではないので、注意してご利用ください。

記載内容の問い合わせ先 武藤化学株式会社 学術課 TEL:03-3814-5511